



# 祐介の目

大田ゆうすけ  
(福山市議会議員)

No.23

毎月1日号に掲載

夕食会に参加し、JFEスチールの林社長をはじめとする多くの方々との意見交換をすることができた。

13日は早朝より、皇居を走って一周した。視察先で早起きしジョギングで見聞を広める事は、私の他に榊原市議や早川市議が常連だ。

午前中は国会図書館の憲政資料室にて、レイテで全滅した歩兵第四十一連隊と対戦した米軍の第一騎兵師団の記録をマイクロフィルムで閲覧した。これまで詳細不明であった四十一連隊の行動が明らかになり、その健闘に米軍も一目置いた事が読み取れた。

14時から東京ドームで試合開始、JFEは下馬評を覆してホンダに圧勝し、福山・倉敷から来た大応援団は大いに盛り上がった。

試合後は「みたままつり」開催中の靖国神社を参拝し、千鳥ヶ淵墓苑で開催された千代田区の戦没者追悼式に参列した。年々遺族の参加は減るが、地元中学校生フランスバンドによる国歌演奏、「ふるさと」の合唱、追悼の言葉朗読等、次世代に繋げる努力が式次第に見られた。

私に限らず議員の多くは視察成果が上がるよう、時間を有効に使っている。温泉旅館で宴会は昔話である。

## 議員の視察について

議員視察は「旅行」であり、視察成果が実際に反映されることは少ないとマスコミが書き、読者の多くが同調する。

私は7月12～13日と東京に行ってきた。主な目的は都市対抗野球・JFE西日本対ホンダ(狭山市)の応援だ。

12日の午後、神田にある低落差型流水式小水力発電システムに取り組みシールインターナショナル株式会社を訪問し、海野社長と芦田川河口堰を利用した潮汐発電の可能性について意見交換をした。海野社長は、単純計算で4・5メガワット(一般家庭3千軒分の電力)程度の出力が期待できると私見を述べた。ただし、水利権を保有する国土交通省の壁は厚く、現時点における実現の可能性は低い。将来に夢や希望を持たせる案として、発電出力の試算を行うことを約束してくれた。

夕方より「JFE西日本激励